

明石公園 どんぐりマップ



(財)兵庫県園芸・公園協会

はじめに



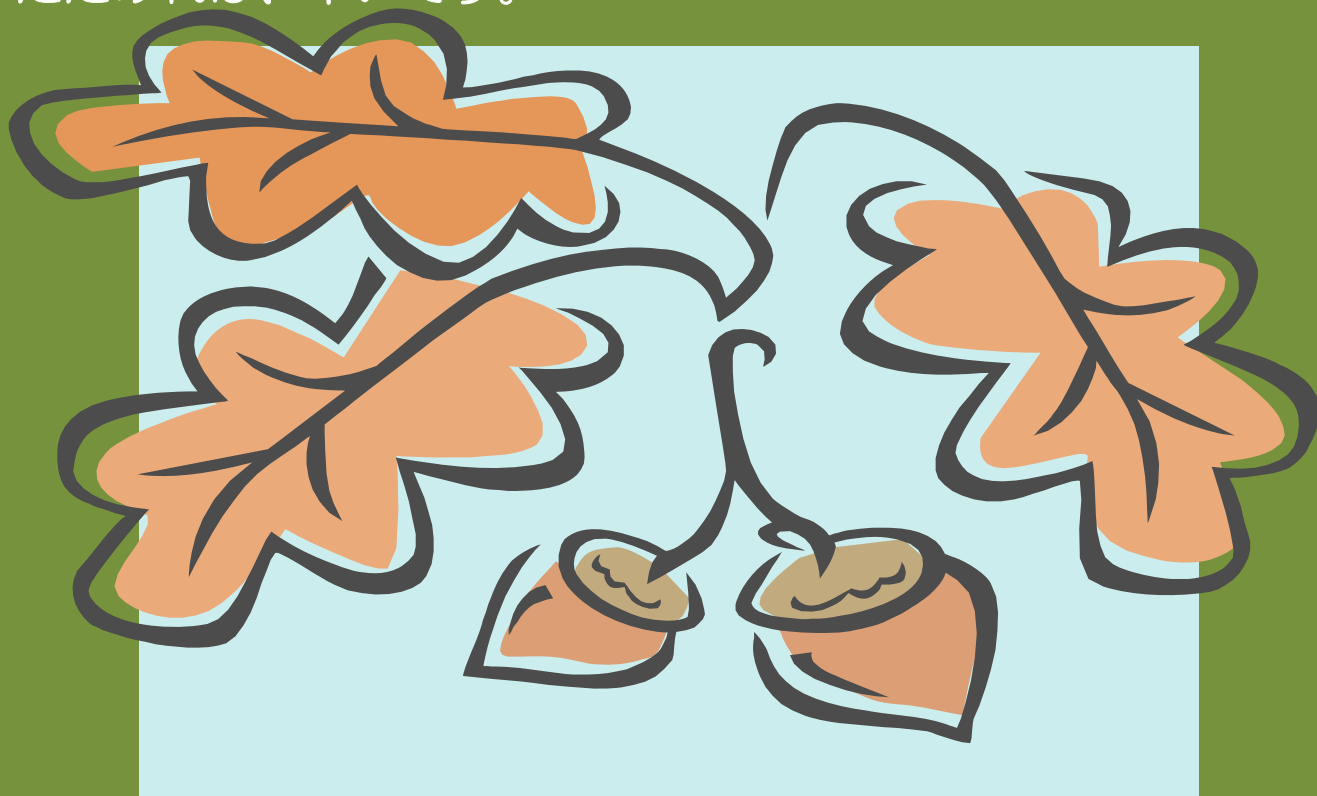
明石公園は、「日本さくら100名選の地」に選ばれており、明石公園でもっとも注目を集めている樹木は、さくらです。

しかし、市街地にありながら、多様な樹木が繁茂する明石公園には、「どんぐりの木」も多く見られます。

春の主役がさくらなら、秋の隠れた主役は「どんぐり」なのです。

そこで、明石公園に自生するどんぐりのなる樹の位置を、地図にて表示したどんぐりマップを作成しました。

また、簡潔ながら、どんぐりに関する資料も付け加えております。この冊子によって、明石公園の新たな魅力を見いだしていただければ、幸いです。



どんぐりの赤ちゃん



コナラ(6月)



シラカシ(6月)



アベマキ(7月)



マテバシイ(8月)

秋へ向けて、どんぐりの赤ちゃんは暑い夏の間
にすくすくと大きくなっていきます。

明石公園 どんぐりマップ (北エリア)

明石公園のどんぐりたち

イチイガシ

（ブナ科ブナ属） *Quercus gilva*



かの中で最も堅く材質がよみので、一位堅と名付けられた。葉の裏に密に毛が生えている。明石公園では仲よし広場で見られる。

ツブラジイ

（ブナ科シノキ属） *Castanopsis cuspidata*



どんぐりが大ききつららであることから名付けられ、またゴジイという別名もある。明石公園では、子どもの村等で見られる。

明石公園のどんぐりたち

クヌギ

（ブナ科コナ属） *Quercus acutissima*



狭い意味でどんぐりと言えはばヌギのことを指す。明石公園では、子どもの村で見られる。

- アラカシ
- ▲ ウバメガシ
- アバマキ
- コナラ
- ▲ シラカシ
- クヌギ
- イチイガシ
- ▲ ツブラジイ
- スダジイ
- マテバシイ

明石公園のどんぐりたち

スダジイ

（ブナ科シノキ属） *Castanopsis sieboldii*

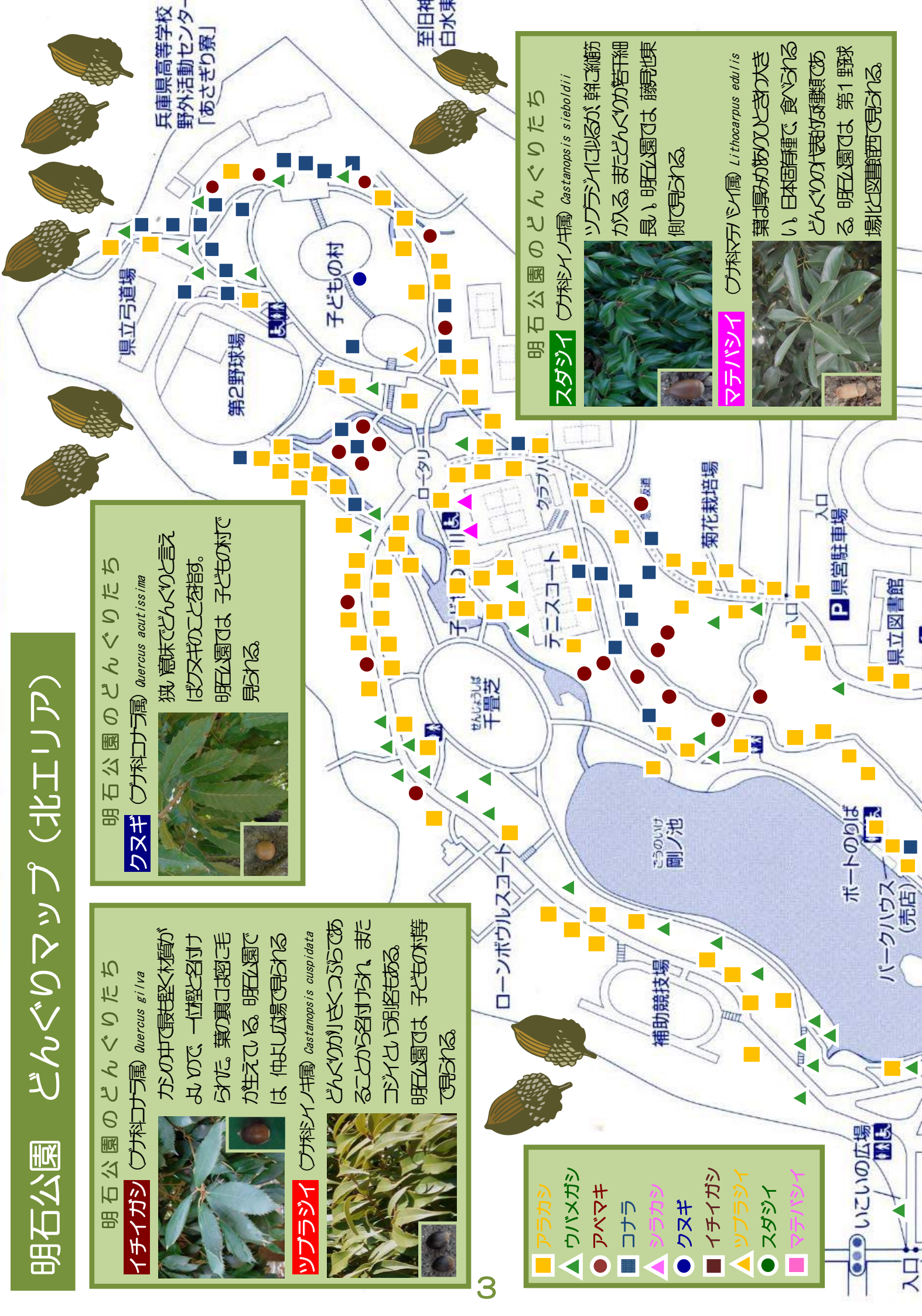
ツブラジイに似るが、鞘に縦筋が入る。またどんぐりが若干細長い。明石公園では、藤見池東側で見られる。



マテバシイ

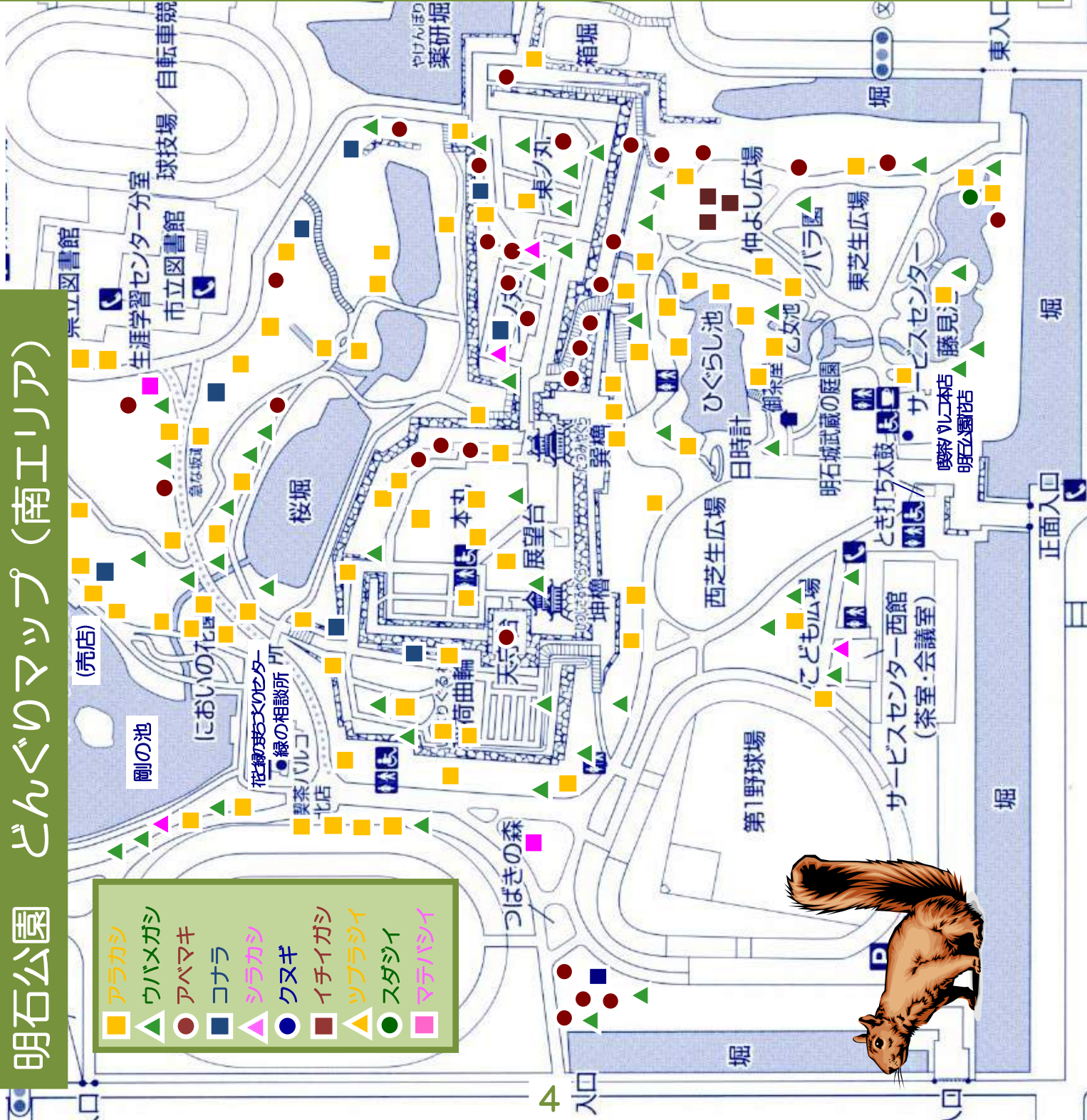
（ブナ科マテバシイ属） *Lithocarpus edulis*

葉は厚みがあり、しごきやすい。日本固有種で、食べられるどんぐりの代表が種類である。明石公園では、第1野球場北と図書館西で見られる。



明石公園 どんぐりマップ (南エリア)

- アラクシ
- ▲ ウバメガシ
- アバマキ
- コナラ
- ▲ シラカシ
- クヌギ
- イチイガシ
- ▲ ツブラシイ
- スダシイ
- マテハンイ



明石公園のどんぐりたち

アラカシ

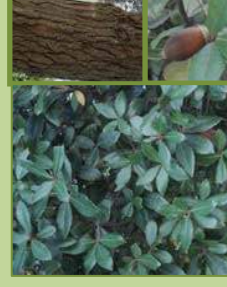
(ブナ科ロナラ属) *Quercus glauca*



葉が硬くて厚く、粗い印象を与えるため粗堅と名付けられた。明石公園では最も多く見られる。どんぐりは秋遅まで木に残る。

ウバメガシ

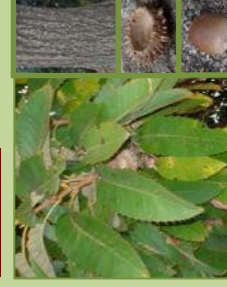
(ブナ科ロナラ属) *Quercus phillyraeoides*



葉がカシの中で最も小さいが、刈り込みが強いので生垣や調刻立などによく利用される。幹口は多くの縦溝がある。

アバマキ

(ブナ科ロナラ属) *Quercus variabilis*



樹皮がでこぼこしている。どんぐりのお皿(殻斗)が髪の毛のようにもせせししているため、どんぐりは太く大きい。

コナラ

(ブナ科ロナラ属) *Quercus serrata*



どんぐりのカシ長いので、見分がつかずやがれ、樹皮にはきりした繊維の裂け目が目に入る。明石公園では滑り曲輪や子供の手で見られる。

シラカシ

(ブナ科ロナラ属) *Quercus myrsinaefolia*



アラカシに似るが、葉が細めで、よく繊維の印象を与える。材がアラカシより淡いため、白堅と名付けられた。

「どんぐり」についてQ&A・・・



Q1. そもそも「どんぐり」って？

A1. ブナ科の堅い果実のことです。

どんぐりはブナ科樹木の堅い果実のことをいい、日本でどんぐりのなる木は約20種類あります。また狭い意味では、どんぐりはクヌギのことを指しています。

どんぐりは、漢字では「団栗」と書きますが、「団」は「丸い」を指し、「丸いクリ」という意味から名付けられたという説や、韓国語で丸いものを指す「ドングル・イ」から名付けられたという説があります。

Q2. 「どんぐり」は食べられるのですか？

A2. 一部は食べられます。

どんぐりは渋みが強い^{しぶ}ため、一般^{いっばん}的に人間がそのまま食べられるものは少ないですが、スタジイ、マテバシイなどは渋みが少なく、そのまま食べられます。また、コナラやイチイガシは、湯がいて渋抜き^{しぶぬ}をすれば食べることができます。

また、どんぐりは良質なたんぱく質^{りょうしつ}を豊富^{ほうふ}に含んでいることから、縄文時代^{じょうもんじだい}ではアワやヒエと同じく、どんぐりは主食^{しゅしょく}であったことがわかっています。



マテバシイの実

近年、国内でどんぐりを使ったコーヒーやケーキ、焼酎、みそなどを特産品として販売している地域もあります。またスペイン特産のイベリコ豚はどんぐりを餌として育て、美味しく良質な肉質で世界中から人気があります。

Q3. 明石公園のどんぐりは、どんな種類があるのですか？

A3. アラカシやウバメガシなど10種類です。

明石公園で広く多く見られるのはアラカシとウバメガシです。公園の南側の堀沿いにある森林は、ウバメガシの群生林となっています。アラカシとウバメガシはともに庭園や生垣などでよく利用されています。

また、明石城址とその周辺にはアベマキ、テニスコート南側や子どもの村、あさぎり寮周辺にはコナラが多く見られます。アベマキやコナラは自然の地形を利用した公園や森林公園などでよく見られます。

イチイガシは仲よし広場で見られますが、公園で見られる例はあまりありません。

マテバシイは園内では2本しか植栽されていませんが、防火樹として、街路樹でよく利用されています。その他、数は少ないですが、シラカシ、クヌギ、ツブラジイ、スタジイが明石公園で見られます。



イチイガシ

Q4.「どんぐり」の実は、何月頃ころから見られるのですか？

A4. 早いもので10月上旬じょうじゆんからです。

アラカシやシラカシなどは見られるのがやや遅おそめで、12月中ちゆう旬じゆんでも木に付いているものがあるほどです。また、クヌギやアベマキなどは10月上旬じょうじゆんから見られ、11月中ちゆうじゆん旬にはほとんど木から落ちてしまいます。



また、どんぐりは5～6月に花が咲きます。この後、今年の秋までにどんぐりの実を付ける種類しゆるいは、アラカシやシラカシ、コナラ等で、冬を越こして翌年よくねんの秋まで月日をかけてじっくりとどんぐりを大きくする種類しゆるいは、ウバメガシやアベマキ、マテバシイなどがあります。

Q5. 明石公園のどんぐりは、拾ひろってもよいのですか？



























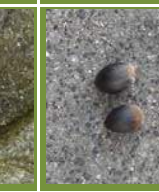


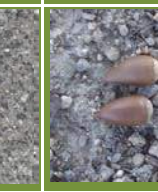



A5. 地面に落ちたものであれば、かまいません。

木に付いているどんぐりを取ることはできませんが、地面に落ちたものについては、拾ひろっていただいてもかまいません。



公園で見られるどんぐりの種類リスト

備考 <食用>可能(生食×) アク抜きが必要
<明石公園>◎広く見られる ○点在する △少ない ×確認されない

種類	学名	科属	名前由来等	分布	落葉常緑	食用	利用	堅果成熟	写真			明石公園	特記事項
									葉	幹	堅果・殻斗		
1 アラカシ	<i>Quercus glauca</i>	ブナ科 コナラ属	葉が厚くて大きいことから「粗榿」	本州東北地方(福島県)以南・四国・九州・沖縄、朝鮮	常緑			1年目(10-12月)	  	◎	最もよく見られる 樹皮には縞や溝がない		
2 シラカシ	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	ブナ科 コナラ属	材がアラカシより淡い色であることから「白榿」	本州東北地方(福島県)以南・四国、九州、中国	常緑			1年目(10-12月)	  	△	どんぐりはアラカシに似る 関東地方では主流のカシ 葉はアラカシより細長い 樹皮には縞や溝がない		
3 ウバメガシ	<i>Quercus phillyraeoides</i>	ブナ科 コナラ属	春の新芽の色が茶褐色で姥芽(ウバメ)	本州関東地方(神奈川県)以西・四国、九州(海岸沿いに多い)	常緑		備長炭	2年目(10-11月)	  	◎	どんぐりの底は小さい 生垣や仕立物にも利用 (刈り込みに強い) 葉はカシ類で最も小さい		
4 イチイガシ	<i>Quercus gilva</i>	ブナ科 コナラ属	材質が最良の榿「一位榿」	本州関東地方以南太平洋岸・四国・九州、朝鮮・中国	常緑	可能(生食×)		1年目(10-11月)	  	△	どんぐりの先に目立つ突起がある 関西での自生は少ない 樹皮は剥がれやすい 葉裏は白褐色を帯びる		
5 ウラジロガシ	<i>Quercus salicina</i>	ブナ科 コナラ属	葉の裏が白い	本州東北地方(宮城県・新潟県)以南・四国・九州・沖縄、朝鮮	常緑			2年目(10-11月)	  	×	葉裏はロウ質で覆われ灰白色		
6 コナラ	<i>Quercus serrata</i>	ブナ科 コナラ属	小さい葉の榿(なら)「小榿」	北海道・本州・四国・九州	落葉	可能(生食×)	シイタケのホダ木	1年目(10-11月)	  	○	どんぐりは細長い		
7 アベマキ	<i>Quercus variabilis</i>	ブナ科 コナラ属	樹皮があばた状になることから「アバタマキ」	本州東北地方(山形県)以南・四国、九州	落葉		かつては樹皮をコルク材に	2年目(9-10月)	  	○	どんぐりは太い どんぐりは殻斗に浅く埋まる 葉幅はクヌギより広め 落ち葉の裏は白っぽい		
8 クヌギ	<i>Quercus acutissima</i>	ブナ科 コナラ属	栗によく似た葉をもち「クリニギ(栗似木)」、別名「ドンングリン」	本州東北地方(若手県・山形県)以南・四国・九州	落葉		薪炭用材、シイタケのホダ木	2年目(9-10月)	  	△	どんぐりは太い どんぐりは殻斗に深く埋まる		
9 ツブラジイ	<i>Castanopsis cuspidata</i>	ブナ科 ツバキ属	堅果がつぶらである、また小さいことから別名「コジイ」	本州関東地方以西・四国、九州	常緑		薪炭用材、シイタケのホダ木	2年目(10-11月)	  	△	どんぐりは最も小さい 葉はスタジイに似る 樹皮には縞や溝がない スタジイと雑種を作りやすい		
10 スタジイ	<i>Castanopsis sieboldii</i>	ブナ科 ツバキ属		本州東北地方(福島県)以南・四国、九州、朝鮮	常緑	可能(生食○)	シイタケのホダ木	2年目(10-11月)	  	△	どんぐりの先は細長くとがる 葉裏は毛があり淡褐色		
11 マテバシイ	<i>Lithocarpus edulis</i>	ブナ科 マテバシイ属	葉がマテ貝に似る	九州南部から南西諸島(日本固有種)	常緑	可能(生食○)		2年目(9-10月)	  	△	どんぐりは大きい どんぐりの底は少しくぼむ 防火樹としても利用 葉は硬くて光沢があり大きい		



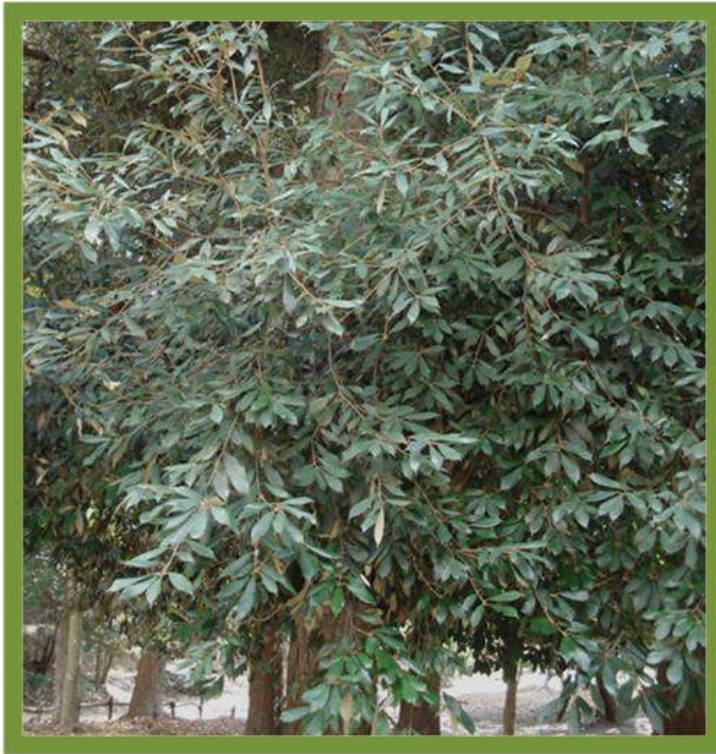
アラカシ



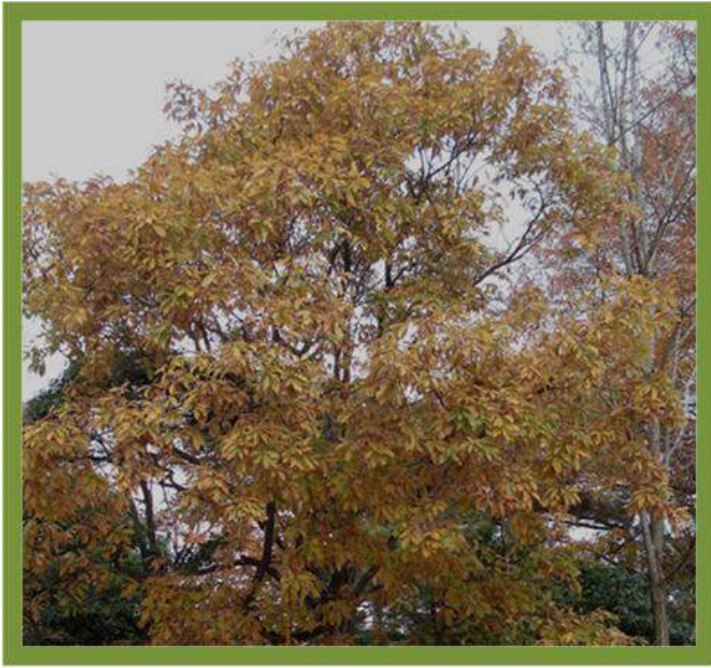
シラカシ



ウバメガシ



イチイガシ



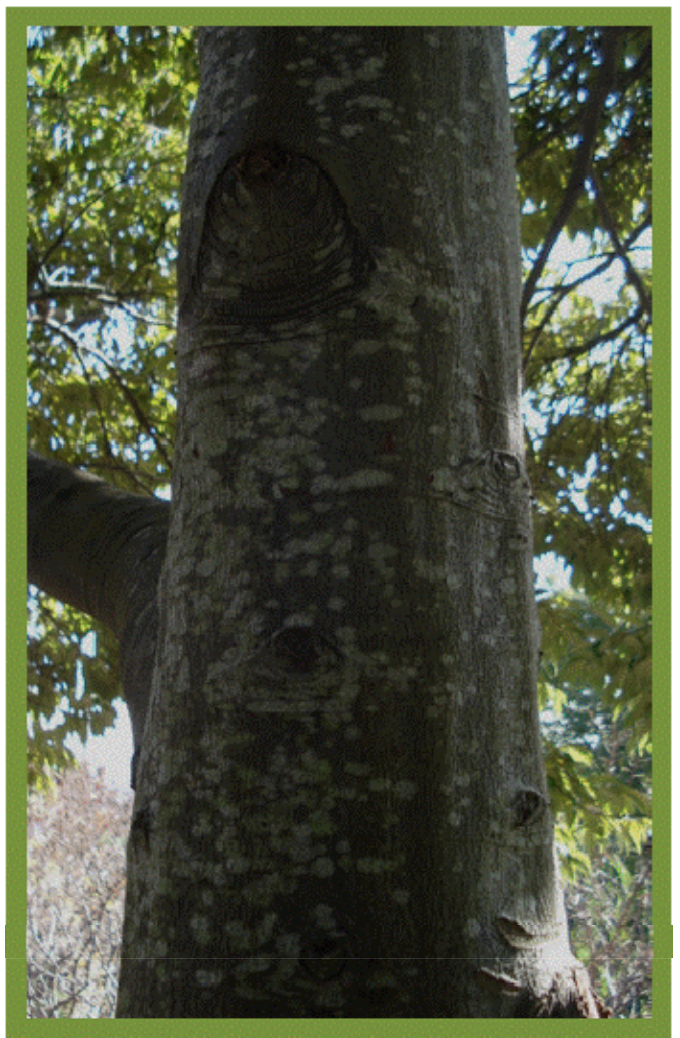
コナラ



アベマキ



クヌギ



ツブラジイ



スダジイ



マテバシイ



発行 平成20年10月15日

(財)兵庫県園芸・公園協会